

介護保険サービスの利用で、悩んだり、 困ったりしているととはありませんか?

介護保険サービス等の利用者・家族と事業者双方の苦情・ 相談に対し、電話・来所による一般相談のほか、福祉・保健・ 医療・法律等、各分野の専門相談員によるあっせん、センター の調停委員による調停を行い、迅速に問題の解決を図ります。

【相談ができる方】

- ●介護保険サービス等の提供を受けている大阪市内の 利用者(本人またはそのご家族)
- ●介護保険サービス等を提供している大阪市内の事業者
- ●大阪市内の利用者のサービスを提供している 大阪市外の事業者



相談の流れ 利用者・事業者からの相談 事務局員による一般相談【常時開設】 終了 専門相談員による専門相談 (あっせん案の提示) 調停委員による調停 終了 (調停案の提示)

平成29年4月~平成29年12月 ※相談内容が複数の項目に該当する件数を含み3,391件 シ)区役所等公的機関の対応について 12件 サ)他の制度に関連すること(医療・障がい・生保)89件 (3)対象外の介護に関するトラブル 70件 コ)利用者・家族間のトラブルについて 40件 ケ)事業者間・事業者内部のトラブルについて 30件 ス)その他 164件 ク)カ)キ)を除く制度について 211件 キ)要介護認定について35件・ カ)保険料について 18件 オ)その他の介護サービスについて 41件 -ア)介護サービスの (2)介護保険制度について 264件 内容について 1,352件 詳細 合計件数 2,792 (1)介護サービスについて ア)介護サービスの内容について 1.352 2,792件 イ)サービス利用料等について 113 ウ)ケアマネジャー・ケアプランについて 259 二)介護サービス事業者の対応 エ)介護サービス事業者の対応について(説明不足等) 1,027 いて(説明不足等) 1,027件 オ)その他の介護サービスについて 41 キ)要介護認定について 35 ク)カ)キ)を除く制度について 211 ケ)事業者間・事業者内部のトラブルについて 30 コ)利用者・家族間のトラブルについて 40 イ)サービス利用料等に サ)他の制度に関連すること(医療・障害・牛保) ついて 113件 シ)区役所等公的機関の対応について 12 ウ)ケアマネジャー・ケアプランについて 259件 総合計 3.391

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 おおさか介護サービス相談センター

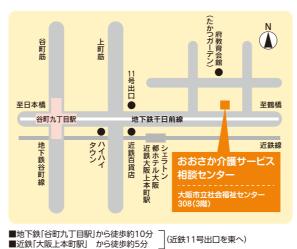
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12番10号 (大阪市立社会福祉センター308)

TEL. 06-6766-3800-06-6766-3855 FAX. 06-6766-3822

ホームページ http://www.kaigo-osaka.ne.jp/ メールでのご相談も受け付けています。

平日 午前9時から午後5時まで

※土曜·日曜·祝日·年末年始 (12月29日~1月3日)を除く



●市バス「上本町六丁目東」バス停前

※駐車場はありません

※再生紙を使用しています。

[認知症] みんなで考えよう

認知症について

認知症は、誰もがなる可能性のある身近な病気です。いろい ろな原因で脳の細胞が損傷を受けたり、働きが悪くなることでさ まざまな障がいが起こり、生活するうえで支障が出ている状態

平成24(2012)年時点で462万人、高齢者の約7人に1人と 推計されています。平成37(2025)年には、認知症高齢者数は 約700万人になると見込まれており、高齢者に対する割合は、 約7人に1人から約5人に1人に上昇すると考えられています。

意欲がなくなる

一方、大阪市では、平成29(2017)年4月1日現在、認知症高 齢者数は約10万2千人と推計されています。全国の推計と同様 に、認知症高齢者のさらなる増加が見込まれています。

認知症になっても安心して暮らすには、どうすればよいか考え ることが大切です。

認知症は早期発見・治療を

認知症は、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー 小体型認知症、前頭側頭型認知症などがあります。早期に発見 し、早期に治療や適切な介護を受けることにより、住み慣れた 地域で、自分らしく暮らし続けることができると言われています。

家族がつくった「認知症」早期発見の目安

ー吊の春らしの中で、認知症ではないかと思われる言動を、「家族の去」の去員の経 からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安とし 参考にしてください。 いくつか思い当たることがあれば、専門家に相談してみることがよいでしょう。	
もの忘れが ひどい	□ 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる□ 同じことを何度も言う・問う・する□ しまい忘れ、置き忘れが増え、いつも探し物をしている□ 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う
判断・理解力が 衰える	□ 料理・片づけ・計算・運転などのミスが多くなった□ 新しいことが覚えられない□ 話のつじつまが合わない□ テレビ番組の内容が理解できなくなった
時間・場所が わからない	□ 約束の日時や場所を間違えるようになった□ 慣れた道でも迷うことがある
人柄が変わる	□ 些細なことで怒りっぽくなった□ 周りへの気づかいがなくなり、頑固になった□ 自分の失敗を人のせいにする□ 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた
不安感が強い	□ ひとりになると怖がったり寂しがったりする□ 外出時、持ち物を何度も確かめる□ 「頭が変になった」と本人が訴える

□ 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった

□ ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

□ 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった

出典/公益社団法人 認知症の人と家族の会作成